

関東甲信越さい帯血バンクと中部さい帯血バンクに

さい帯血を提供してくださるお母様へのお知らせ

研究責任者： 東京大学医科学研究所 幹細胞基盤技術研究分野
教授 ・ 山崎 聡

東京大学医科学研究所 幹細胞基盤技術研究分野では、上記の方の試料・情報を使わせていただき、以下の研究を行います。下記2. に該当する提供者様で、試料・情報が本研究に用いられることを希望されない方は、下記7. の連絡先までお申し出ください。その場合でも提供者様に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。なお、お申し出の時点において、すでに試料・情報を用いた研究結果が論文等で公表されていた場合には、その研究結果については破棄できないことをご了承ください。

1. 研究課題名：

臍帯血由来の増幅造血幹・前駆細胞と抗原特異的 T 細胞を用いた新規細胞療法の開発研究

2. 研究の対象となる方と用いる試料・情報：

関東甲信越さい帯血バンクと中部さい帯血バンクにおいて 2026 年 5 月 1 日～2028 年 10 月 30 日の期間の間さい帯血を提供してくださった方

使用する試料・情報

本研究では、日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンクと中部さい帯血バンクより提供を受けたさい帯血検体および関連データを使用します。使用する情報は以下に限られます。

- 採取時間
- 有核細胞数
- 液量
- CD34 陽性細胞数

3. 研究の目的と方法：

白血病や再生不良性貧血などの患者さんに造血幹細胞という血液のもとになる細胞を移植する治療法を「造血幹細胞移植」と言います。造血幹細胞移植には骨髓血を使用する骨髓移植とさい帯血を使用するさい帯血移植などがあげられます。

さい帯血は骨髓血より白血球の血液型(HLA 型)が適合していなくても移植が可能であり、あらかじめ保存してあるためドナーが見つかりやすい傾向にあります。一方で、骨髓血よりも総細胞数が少ないため移植してからドナー由来の血液細胞が患者さんの体内で増えるのに時間がかかり、感染症にかかりやすくなってしまうという課題があります。

本研究では、さい帯血中の造血幹細胞を移植前に体外で増殖すると同時に、同じさい帯血中の T 細胞から感染症を引き起こしやすいウイルスを排除する T 細胞を作製して併せて投与することでさい帯血移植の課題を改善する新たな細胞治療法の開発を目的としています。

外部提供について

本研究において、試料を共同研究機関である国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センターへ提供することがあります。研究データについては、個人を特定できない形で 6. の共同研究機関と学術的検討を行う場合があります。

4. 個人情報の取扱い：

各さい帯血バンクから氏名、生年月日、カルテ情報等の直ちに個人を特定できる情報は本研究機関に提供されません。試料・情報には、研究用 ID をつけて利用させていただきます。研究用 ID と提供者様を特定できる情報を記載した対応表は、各さい帯血バンクの個人情報保護管理者が厳重に管理します。

5. 研究期間等：

研究期間：2026年6月25日～ 2028年 12月 29日

試料・情報の利用開始予定日：2026年6月25日

6. 研究実施体制：

研究代表者 東京大学医科学研究所幹細胞基盤技術研究分野 教授 山崎聡

研究分担者 東京大学医科学研究所幹細胞基盤技術研究分野 特任研究員 高橋聡

幹細胞基盤技術研究分野 特任研究員 森田麻衣子

幹細胞基盤技術研究分野 学術専門職員 荻野靖子

体性幹細胞研究分野 特任助教 須藤和寛

共同研究機関 研究責任者

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター 室長 立川（川名）愛

筑波大学 医学医療系血液内科 准教授 錦井秀和

7. ご質問・ご相談、ご辞退のお申し出に関する連絡先

本研究に関するご質問・ご相談、または、試料・情報が本研究に用いられることを希望されない場合には下記までご連絡下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧出来ますのでお申し出下さい。

<ご質問・お問い合わせに関する連絡先>

東京大学医科学研究所 幹細胞基盤技術研究分野

(研究責任者) 教授 山崎聡

電話番号：03-5449-5301

【東京大学医科学研究所】

研究所長名：岩間 厚志

住所：東京都港区白金台 4-6-1

ホームページ：<https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/>

研究倫理支援室：<https://ore-imsut.jp/>